



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

令和5年2月25日号  
発行所／(有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町 2-6-45-7 号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて  
自然由来です

高橋農園の  
手作りジャム

600円税別  
●ルレクチエ ●りんご ●桃

高橋農園  
(新発田市横山1314)  
TEL.0254-29-2287  
http://takahashinouen.com/

ジャムやジュース販売中！  
ご贈答に人気です。

しばた健康ファーム 検索

## 月岡温泉まち歩き さらに楽しく受賞

月岡温泉は、若くカナルや家族連れでにぎわっている。もちろん、今、得キャンペーンなどの補助金力もあるが、温泉旅館の若い経営者組織したミライズの「まち歩きを楽しんでほしい」との取り組みが人気を呼んでいるのだ。

ミライズの面々は月岡温泉開湯100年にあたる平成26(2014)年からメインストリート中心に、毎年1店舗ずつテーマごとに厳選した啓蒙提供する店舗を開設してきた。初期の頃から「新潟のいいもの」にこだわってきたが、いわゆる名産というより「美味しくて、ワクワクする」がコンセプトで、出品を機会に新商品も開発された。

店は地酒の「蔵を皮切りに」田三香「米」「実」「甘」「和」、そして昨年「煎」で9店舗。来場者は年間20万人、売上も総計1億円を超えた。ユニークなのは利益は次回開設店舗の資金に充てていること。つまり目的はあくまでも、温泉街のにぎわい創出なのだ。

令和元(2019)年この取り組みが評価され「第一回先進的まちづくり大賞」の最高賞・国土大臣賞を受賞して以来、今回「第13回地域再生大賞」特別賞の「歩いて楽しむ」



**NEW**  
新発ロースト premium CANELÉ 煎 IRU  
フランスの菓子カヌレ 12種と挽き立てコーヒー 3種(浅煎・深煎・アイス)の店。店内での「イートインセット」がお勧め。  
火・木休 / 9:00~18:00  
(休憩 12:00~13:00)

まち歩きで賞で4回目の受賞となる。受賞の理由としては「固定観念に縛られない自由な発想、コストを掛けない高率のな取り組みを戦略的に実施している」点を挙げています。つまり、経営的には出来る範囲で長く続けている点が評価されたのだ。確かに1店舗がオープンしたときのインパクトはそれほどではなかったが、3店舗目、4店舗目を数を増やしてくと次第にまち歩きが楽しみになってきた。

ミライズの活動が刺激になったのか、令和2(2020)年にはクラフトビール製造所・月岡フルワリーも進出、もともとあった「足湯」や日帰りの温泉の「美人の泉」、アミノメントスポットの「源泉の杜」二月あかりの庭などを巡り、「加賀田米穀店」で駄菓子屋を物色、「コトリカフェ」や「キッチン」としてひと休み、そしてカリオンパークの「手造りガラス」びいどろや「天田昭次記念館」で美しい日本刀を愛しむなど、興味は尽きない。

月岡温泉 おやんぼ MAP

290

●わくわくファーム ●美人の泉(日帰り温泉)

## コラム

雨水から啓蟄へ



2月19日、今日は朝から雨がやまない。事務所周りの雪も随分少なくなった。このまま暖かくなって春が来るといふと思う▼中国では「二十四節気」といって1年の季節をまず春夏秋冬の四季に分けて、さらに1年を12の「節気」と「中気」に分けて、都合24それぞれ名前を付けている。日本に入ってから、このほか「雑節」といって、土用、八十八夜、入梅、半夏生、二百十日などが発明されたらしい▼今日は「二十四節気」のうちの「雨水(うすい)」にあたる。「降る雪が雨に変わり、積もった雪を溶かし始める頃」だそうだが昔から農作業を始める頃ともされている。確かに晴れていけば、さくらんぼの剪定をしている姿も見られるようになった▼庭では、なるほど、水仙が花を開いていて、桜のつぼみも膨らんでいる。春近しの感である。昔から五十公野・七軒町の観音様の御開帳の頃が一番寒くて、それから次第に雪の量が減り始める。とはいえ、「三寒四温」はまだ先だ。次の「啓蟄(けいちつ)」を過ぎればひと安心か▼「切株のまだ新しい雨水(かな)」「能村登四郎」雪の下から切ったままの切株が出てきた。あるいは雪で倒れた木の切株か。「畔土のゆるみぞめたる雨水(かな)」「田崎源」。通勤途中の田んぼは一面の雪に覆われていたが、黒っぽい畔が見えてきた▼解氷は遅うかもしれないけど、どちらもある待ち遠しい春への期待感がにじんでいる。「深入りする雨水のころの野となれば」「豊田都峰」は好きな句です。



# コロナ禍で帰れなかった人も参加 「新発田で春節を祝おう！」を開催

1月22日(日)、ヨリネスびたで中国の春節を祝うイベント「新発田で春節を祝おう！〜中国編〜」が開かれ、中国出身の方も含め、およそ30人が参加した。

本イベントは、多文化共生コーディネーター(地域おこし協力が市民サポーターと3ミートアップを重ねて企画し、開催したものだ。

当日は、1階札の辻ラウンジで日本・中国それぞれのお正月について市民サポーターから紹介された後、中華提灯で飾られたラウンジに移り、交流会が行われた。嬉しい、坊主めくり、中華提灯作りなどの会では、参加者同士和気あいあいとした様子が見られ、会場は大いに盛り上がった。中華提灯作りでは、春節の「春をモチーフにした提灯を作り、完成した提灯に参加者は納めた。

参加者からは「お互いの国のお正月を知ることができて、とても勉強になりました。飾り作りやゲームでの交流を通じて



参加者で記念写真



坊主めくり

いろいろな人と知りあえて良かったなどの感想が聞かれた。

企画した多文化共生コーディネーターは「コロナウイルスが世界中で広がり、自分の国に帰ることができない人がいます。そうした中、新発田で旧正月を祝う場を作りたいと思って企画しました。交流会を通して、参加者の皆さんの笑顔を見ることができて嬉しかった。サポーターとして企画から当日まで協力してくれた市民の皆さんに感謝しています」と感慨深そうだった。

新発田市内には、今年1月末現在で654人の外国人が在住しており、中国出身者は156人と全体の約4分の1を占めている。今後もコロナ規制の緩和等により、中国だけでなく国内に在住する外国人人口の増加が予想されている。こうしたなかで、市では異文化や多様な価値観を認め合う「多文化共生のまちづくり」を推進し、各種事業に取り組みしていきたいとしている。

パネラーの皆さん



オープニングを飾った新発田中央高校吹奏楽部の皆さん

## 地域活性化に向けて 自治会が講演会主催

1月21日(土)、新発田市自治会連合会主催の講演会「地域おこしの現状と課題」が、新発田中央高校吹奏楽部の華やかな演奏が飾り、自治会・町内会長はじめ、自治会運営関係者など約130名が参加した。

講演会は、パネルディスカッション形式で行われた。コーディネーターは敬和学園大学准教授の堀野直求(のぶみ)で先生、パネラーは元地域おこし協力隊の川辺(かわべ)真子(まこ)さん、松浦地区集落交歓員の片山(かたやま)誠(まこと)さん、川東地区集落交歓員の土田(つちの)久(ひさ)さん、中央4丁目町内会会長の高橋(たかはし)真(まこと)さん、それぞれ地域での活動や担い手確保に向けた取組を発表した後、参加者からの質問を受けながら、活発に話し合いが行われた。

パネラーからは「地域に若者がいないと言われるが、まったくいない訳ではない。若者が関わりやすい仕組みを常に考えている。地域によっては男性が役員をやる風潮があるが、地域活動に参加する女性もおり、人材は地域にいます。もっと視野を広げてはどうかの意見が出された。堀野先生は「自治会・町内会の担い手確保は全国的な課題。即効性ある可能性はない。新たな協力を増やす、口頭で頼っている自治会役員への負担を減らすなど、地域に合った地道な取組を続けていくべき」と語った。

主催者の市自治会連合会・富樫康雄副会長は「今回のテーマは市内約330の自治会・町内会共通の悩みだと思います。今回は地域の担い手確保や活性化に向けてどのように取り組んでいくかを考える良い機会になったのではないのでしょうか。また、これからは女性の参加が大きな力を握っていると思います。今後の活動のヒントを得たようだった。」

市自治会連合会では、今後も様々なテーマでの講演会や研修会を開催し、自治会・町内会が抱える課題解決につなげたいとしている。

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長埜 284-1 TEL.0254-23-6851	介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニュープラザホテル 新発田市南町 1-9-29 TEL.0254-26-3131	複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市南町 110-38 TEL.0254-24-1111	尾田建設 新発田市荒町 47 TEL.0254-22-4200
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711	割烹 旬 ままや 新発田市御幸町1丁目1の1 ☎(0254)22-2102(代)	
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	しばたパッカーズ(株) 新発田市山神保 427 TEL.0254-22-2334	新発田人なら一家に一冊 新発田安兵衛ファン待望の出版 // A4・オールカラー・84頁	
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101	武庸会百周年記念誌 頒布価 1000円	
SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011	頒布所:新発田市観光協会 新発田市諏訪町 1-2-11 TEL.0254(26)6789	
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-23-3497	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761	
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191		
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030		
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字島越 4666-1 TEL.0254-28-5136		
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700		
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010			



# 堀部安兵衛を偲んで 321回忌法要実施

新発田生まれ、赤穂四十七士で随一の勇士とされている堀部安兵衛。吉良邸討ち入り後の元禄16（1703）年2月4日に名譽の切腹をした。

安兵衛の顕彰団体武庫（たけつね）会では四十七士の墓のある東京・泉岳寺から平成29（2017）年に安兵衛の父・弥次右衛門の眠る長徳寺に分骨した。墓石は磯石井組が寄贈した。

321回忌の当日、安兵衛の位牌の前で長徳寺住職・関根正隆さんの読経に合わせて、武庫会員約25人が焼香した。その後、義士堂脇の墓に酒を手向け、用意した茶碗に酒を注いで「安兵衛さん、ありがとう」と声を掛け、次々と酒を酌み交わした。安兵衛が四十七士、「二の酒撃た」との言い伝

えにちなむものだ。

武庫会会長の高橋正明さんはいろいろなお趣向を凝らして、これからも冬の新発田を盛り上げた上で意欲的だった。

さらに安兵衛助太夫は、以来の新たな伝統になると期待されている行事、赤穂藩ゆかりのカキがフードバンクしはたの「井当隊4名」に手渡された。このカキは総計4kg（弁当隊の手でカキフライに調理され、フードバンクを利用する人たちに配られるのだという。

法要後に開かれた会では安兵衛生誕350年記念に製作された漫画「熱血 堀部安兵衛物語」の作者・もりいくすおさんからのビデオメッセージが披露され、武庫会



フードバンクしはたにカキを寄付



安兵衛の墓にお参り

江戸留守居役の土田真彦さんからは「映画にみる安兵衛像は多彩を極めてまったく飽きることがない」と、具体的に阪東妻三郎や大河内傳次郎が住むの俳優名を挙げての講演があった。

「直会（なほらい）」では長徳寺住職の関根正隆さんから「安兵衛つながり、赤穂のカキを使ったしはたオイスターバーもよろしく」と挨拶があった。「しはたオイスターバー」

は今年10周年イタリヤンから割烹や中華、バーまで30店舗でオリジナルなカキ料理が味わえる一大イベントで、今月いっぱい開催されている。月岡フルワイではカキ料理に合うビール月と海を発売した。

なお、元禄7（1694）年2月11日は安兵衛が高田馬場で助太刀した日だったので、2月11日、参加店で記念のサービスが行われた。

# 新発田郷土研究会で 「石川啄木と宮崎郁雨」

新発田郷土研究会（会長 榎本邦夫会長）は創立50周年を迎え、昨年4月19日に記念式典が開催された。新発田郷土講座は例年通り今年3回、開催された。初回は「石川啄木と宮崎郁雨」（講師・阿部聡）、第2回は「道学あれこれ」（講師・板倉敏郎）、第3回は「佐々木盛綱・新発田と海老名」（講師・伊藤貴行/里村修平）である。講演の概要を3回に分けて掲載する。

（石川啄木と宮崎郁雨）講師・阿部聡  
「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむる」の啄木と、啄木を世に出した郁雨（本名・大田四郎）の歌壇が、昨年6月、高崎郁雨の生家跡の荒川・松浦保育園に建てられた。建てたのは新発田城南ロータリークラブで、主導したのは尾田一雄さん、支援したのは時田誠士さんたちだ。ロータリーは

「友情、奉仕をモットー」とすることから、啄木と郁雨の友情をその典型としたのである。郁雨は函館に渡り、明治40（1907）年無一文で函館にきた啄木を歓迎した。仲間と歌会を開いて歌みかとしての才能を自覚させ、新聞記者の仕事に就いた。翌年、家族3人を自分引き取り、啄木を文学に専念させて文学者として大成させるために東京に送り出した。自分の夢を託したのだ。啄木は明治48（1905）年、歌集「一握の砂」を出版した。所収の作「野村花鳥風月」を詠んだ歌から「生活」を詠む短歌への道を開いた。

函館の郁雨は啄木を短歌へ回帰させ、出来得る限りの金銭的支援をした。啄木の死後は盟友である函館図書館長の岡田健蔵と共に函館に啄木一家の墓を建て、函館図書館内に「啄木文庫」を開設し、啄木資料の収集と顕彰

に努めた。

郁雨の啄木に対する支援は並外れており、「一握の砂」は郁雨と金田一京助に捧げられた。郁雨の歌身はたゞまなまな人助けの精神によるものだが、それはそこからきたのか。第一に父の影響。「他人を喜ばせることが出来る者は任せ、二人のためになれ」との教えが「私の一生の運命を左右して居るんではなからぬか」（阿部）とを編「風鑑」よりの想い。

幼少時の極貧時代に無償で鶴岡学校に通った経験が大きい。

そのため、啄木への支援、啄木没後は義務理事として福祉施設「函館慈恵院」の経営に没頭した。理事長は太郎代出身の小熊幸一郎だ。昭和9年の函館大火も戦争中の貧苦も二人の才覚と努力で乗り切った。ところが、ヤミ物資を購入して孤児や老人などの入所者を助けたことが発覚したとして「函館慈恵院」の実権を奪われた阿部たつを編「函館厚生院六十年史」を参照。郁雨はその後も戦争引

揚者ために献身的に働いた。

第二に函館にみなぎっていた「奉仕の精神」の影響。盟友・岡田の函館図書館は相馬哲也の出身、小熊幸一郎太郎代出身の援助で建てられた。鶴岡学校は棒二森屋の渡辺熊四郎が建てた。函館慈恵院は人力車屋の仲山与七が提唱し、父が新潟出身の二代寺井四郎兵衛が資金提供、中瀬原出身の信信・ト田大法が設立した。ちなみに戦争中の函館市長は新発田・立売出身の登坂辰作である。

第三に宗教的影響があるが割愛する。いずれにせよ、郁雨は新発田・荒川が生んだ並外れた人助けの人、同郷の誇りとした



宮崎郁雨

## 堀部安兵衛

# 生誕 350 年記念出版

もりいくすお漫画  
『熱血 堀部安兵衛物語』  
A4・36頁 1,000円＋税

富澤信明論文集  
一系図から読み解く忠臣蔵一  
『実録 堀部安兵衛』  
A5・360頁 2,000円＋税

**新発見 満載!**

発売所  
高木書店  
〒957-0052  
新発田市大手町 1-2-13  
☎0254(22)3241

新発田市観光協会  
〒957-0055  
新発田市諏訪町 1-2-11  
☎0254(26)6789



# 越後姫

とんとの

2/23 (祝木) ~ 26日

マルシェ 採れたていちごが大集合!

TON TON

●新発田店 9:00~18:00  
新発田市荒町1480  
☎0254-20-2229

●松崎店 9:00~18:00(冬季期間)  
新潟市東区新松崎1-6-14  
☎025-274-2229



# Friday 金曜日 陽だまり苑 ふえりあのふらいでい教室

介護予防と生きがいづくりでいきいき生涯現役を応援します

3月のご案内 毎週 金曜日

**10日(金)** 大好評! 元気100倍!  
10:00~11:00 **パワーアップレッスン**  
元気な毎日を続けましょう!

心肺機能向上 生活習慣病予防 体脂肪燃焼

講師 市井 辰樹

～参加者の皆様より～  
「こんなに動ける・歩けるなんて思わなかった!」  
「講師の声掛けが上手! 1人じゃないから頑張れた」  
「体を動かす以外にも講師の話がとても参考になった」

椅子を使ったの全身体操で基礎代謝を上げ、健康な体作りを目指します

内履き 飲み物 持参 料金 300円

**3日(金)** 10:00~11:30 **きらきら体操**  
みんなで楽しくリズム体操

**17日(金)** 10:00~11:30 **脳トレ・筋カトレーニング**

血行を促進して体力の向上や心肺機能向上!  
内履き 飲み物 持参 カフェ料金 200円

カフェでディナータイム

前回大好評につき 再開催決定!  
**24日(金)** 10:00~10:50 **豆ノート作り**

予約(先着順) 10名  
講師 あかむらん様

「また作りたい♪」の声多数! 今回は春をイメージして世界に一つだけの豆ノートを作りましょう★  
材料費 500円

健康、文化発信拠点 陽だまり苑 ふえりあ 皆様のご参加をお待ちしています 新発田市富塚町2-4-13 ☎ 20-8283

落谷虹児記念館 開館35周年記念企画 第2弾

文と挿絵の二刀流連載小説

## 落谷虹児の乙女妻展

会期 2022年12月20日(火)~2023年3月5日(日)

入館時間 午前9時~午後5時(入館受付午後4時30分まで)  
休館日 月曜(但し12月31日(祝)は開館し翌日は休館いたします。年末年始は2月1日~3日(祝)は休館いたします。)  
会場 落谷虹児記念館(新潟県新発田市中心部4丁目1番7号)  
入館料 一般・大学生 510円、高校生 210円、小・中学生 110円  
主催 新発田市、落谷虹児記念館

落谷虹児 画  
[乙女妻] 第一巻(3)「萬品屋の娘」  
[乙女妻] 1937(昭和12)1月号

落谷虹児記念館  
KOJI FUKUYA MEMORIAL MUSEUM OF ART  
〒952-8501 新潟県新発田市中心部4丁目1番7号 TEL:0254-24-2100

新発田藩の重臣たち 明治6年豊田神社所蔵

異国船の来航から廃藩置県まで  
明治維新と新発田藩

嘉永六年(一八五三)、ペリー率いるアメリカ東インド艦隊の艦船四隻の来航が、江戸時代の幕引きを告げました。新潟藩にも異国の船が現れるようになり、新発田藩が警備にあたっていきます。その後、開国をめぐり国内情勢が揺らぎはじめ、幕府と西国諸藩との対立、大政奉還、戊辰戦争へとつながります。戦火が北上するなか奥羽越列藩同盟・新政府との間で、綱渡りのような交渉を経て新発田藩は越後での戦いを乗り切ります。明治四年(一八七二)に廃藩置県が行われ、新発田藩は新発田県となります。

この新しい時代と出会う十八年間の新発田藩の姿を、現存する資料から多角的な視点で解説します。

1階展示室 入場無料

1.14(土) → 4.9(日)

会館時間 9:00~17:00  
休館日 月曜休館(祝日開館・翌日休館)

新発田市立歴史図書館 新発田市中心部4-11-27 ☎0254-24-2100